



外国出張報告書

平成 25 年 11 月 21 日

1. 出張国名 イギリス、ガーナ
2. 出張月 平成 25 年 11 月
3. 出張目的 A. IRPAN第1回戦略会議参加
 B. 「アフリカ稲作振興」プロジェクトのデータ収集及び関係機関の表敬

4. 成果の概要

A. 英国 Biotechnology and Biological Sci. Res. Council が主催した、IRPAN (Interstitial Research Programme in Agricultural Nitrogen) に出席し、今後の窒素研究戦略を討議した。著名な国際研究機関、大学およびゲイツ財団やモンサント等のファウンダーが 12 カ国 (イギリス、フランス、ドイツ、ロシア、カナダ、アメリカ、ブラジル、日本、中国、インド、フィリピン、オーストリア) から参加した。討議の結果、IRPAN は生物的窒素固定、窒素利用効率に関する研究および関連する遺伝子育種等の研究を行うとの共通認識にいたった。

B. ガーナのアクラにあるJICA、大使館、Scientific and Industrial Research Ghanaを表敬訪問するとともに、カウンタパート機関であるタマレのSavanna Agricultural Research Institute (SARI) で研究打合せを行った。また、タマレ郊外のZaw村のプロジェクトサイトを訪れ、圃場試験の状況を視察した。SARIとはこれまでの研究成果をもとに氾濫低湿地イネ栽培技術の実用化に向け、さらに共同研究を深化していくことを確認した。